



National Rehabilitation Center for Persons with Disabilities

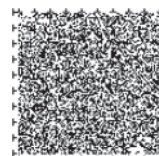
国立障害者リハビリテーションセンター

# 支え、寄り添い、 未来をひらく



音声コード  
[Uni-Voice]

専用アプリなどで読み取ると、  
内容を音声で聞くことができます。



# 障害者の自立と社会参加を支援するために、医療から福祉まで切れ目のないサービスを提供しています。

国立障害者リハビリテーションセンターは、①病院 ②自立支援局 ③研究所 ④学院 ⑤企画・情報部 ⑥管理部の6部門から構成されています。対象となる障害は、脊髄損傷、四肢の切断や先天性形成不全、高次脳機能障害、視覚障害、聴覚障害、吃音、発達障害など非常に幅広く、これらの障害に対するリハビリテーション医療と障害福祉サービスの提供、研究・開発、人材育成、広報・情報発信、国際協力などを行っています。



## ■ 国立障害者リハビリテーションセンターとは

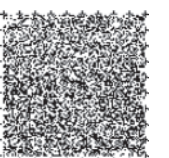


着工年月	昭和51年9月
設立年月	昭和54年7月
敷地面積	225,180㎡



音声コード [Uni-Voice]

専用アプリなどで読み取ると、内容を音声で聞くことができます。



# 先進的かつ良質な リハビリテーション医療を 幅広い診療分野で提供しています。

病院では、障害のある方々に最適な、安全で質の高い医療を提供し、リハビリテーション医学及び障害者医療の発展に努めています。特に重度障害、重複障害といった他の医療機関では対応が困難な方々に、多職種連携によるチームアプローチを介したリハビリテーションを展開しています。主たる疾患・障害として、脊髄損傷、四肢の切断、視覚障害、聴覚・言語障害、高次脳機能障害、発達障害(成人・小児)の診療を行っています。また医療部門である病院と、福祉部門である自立支援局が、対等かつ組織的に連携し、日常生活活動の自立から社会的自立まで、患者支援サービスの充実を図っています。

## 主な診療科

リハビリテーション科  
整形外科  
耳鼻咽喉科  
眼科、泌尿器科  
歯科、児童精神科

## 理学療法

Physical Therapy

# PT

日常生活における基本的な動作能力の向上を目指すとともに、円滑な地域生活を送るために必要とされる様々な支援を行います。



## 言語聴覚療法

Speech-Language-Hearing Therapy

# SL

ことば・きこえによるコミュニケーションや、食べることに障害のある方々に、小児から成人まで、その人のライフステージに合わせて、言語聴覚士が機能改善や自分らしい生活の構築など、生活の質を高める支援をします。



## 義肢装具療法

Prosthetics and Orthotics

# PO

身体機能の回復や日常生活の向上のために、体に合った義肢(義手や義足)、装具を製作し、必要な調整と使い方の指導を義肢装具士が行っています。



## ロービジョンクリニック

Low Vision Training

# LV

見えにくさに関する困りごとに、眼科医や視能訓練士、歩行訓練士、ソーシャルワーカーが力を合わせて対応しています。



## 作業療法

Occupational Therapy

# OT

運動機能や認知機能、生活行為に障害がある方々に、様々な「作業」を通して機能回復や生活に必要な動作などの再獲得、退院後の生活環境作りの支援を行い、その人らしい社会復帰を目指します。



## 臨床心理

Clinical Psychology

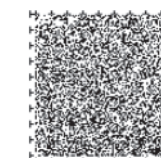
# CP

主に高次脳機能障害、発達障害のある方々に、各種心理検査の実施、心理検査などの結果に基づいた助言、個別訓練、心理相談、グループ訓練、家族支援などを行っています。



音声コード  
[Uni-Voice]

専用アプリなどで読み取ると、  
内容を音声で聞くことができます。



# 障害者が自立した生活を営めるように 各種障害福祉サービスを提供しています。

障害者総合支援法の指定障害者支援施設として、主に身体に障害のある方々、高次脳機能障害のある方々、発達障害のある方々が、自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、各種障害福祉サービスを提供しています。

頸髄損傷者の  
よりよい社会生活に向けて

## 自立訓練（機能訓練）・肢体

頸髄損傷による四肢麻痺の方々に、医学的管理の下、理学療法、作業療法、運動療法、パソコン訓練などを行っています。



自立した移動を  
実現するために

## 自動車訓練

行動範囲の拡大や通勤などの手段獲得を図るため、自動車運転の習熟訓練などを支援します。



高次脳機能障害のある方々が  
いきいきと暮らすために

## 自立訓練（生活訓練）

高次脳機能障害のある方々が、日常生活や社会生活に必要な手段を理解し、生活能力を高められるよう、個々の生活状況に応じて訓練を行います。



「患者さんの心身を癒すプロ」  
東洋療法（あん摩など）の  
治療家になりませんか

## 就労移行支援（養成施設）

視覚に障害がある方々に、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の受験資格を得るための職業教育を行っています。



「見えない」「見えづらい」で  
お困りの方々へ

## 自立訓練（機能訓練）・視覚

視覚に障害のある方々が、持てる力を最大限に活かし、より充実した社会生活を送れるよう、歩行訓練、パソコン訓練、点字などのコミュニケーション訓練、日常生活訓練、ロービジョン訓練などを行います。



障害のある方々の  
「働きたい」を支援します

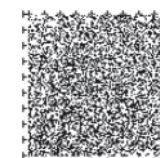
## 就労移行支援

企業への就職または復職に向けて、各種訓練や職場実習により、働くための力をつける支援や就職活動のための支援を行っています。



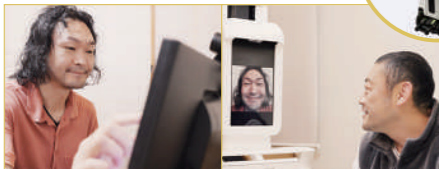
音声コード  
[Uni-Voice]

専用アプリなどで読み取ると、  
内容を音声で聞くことができます。



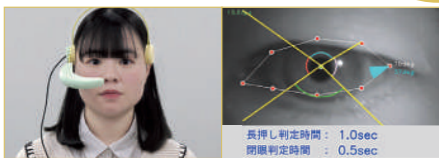
## 障害者の自立と社会参加を支援するための 研究・開発を行っています。

### 遠隔作業支援ロボット



重度の障害のある方々が、ベッドや車椅子から、遠隔地にある介護施設に設置されたロボットを操作して、補助作業やコミュニケーションを行うシステムです。AIにはまだ不可能な人間の思考力と判断力を活かし、障害者の雇用を生み出します。大阪・関西万博にも出展され好評を得ました。

### 眼球運動を利用した 頭部装着型の意思伝達用 スイッチ(アイトリガーデバイス)



ヘッドセットの小型カメラで眼球運動を撮影・検出して、YES/NOを表示したり、様々な機器操作を可能にするシステムです。重度の運動機能障害のある方々も、眼球運動は長く保たれるので、意思伝達などに大きく役立ちます。パーツは汎用品、ヘッドセットは3Dプリンターで出力可能。2025年グッドデザイン賞を受賞しました。



研究所は①脳機能系障害研究部、②運動機能系障害研究部、③感覚機能系障害研究部、④福祉機器開発部、⑤障害工学研究部、⑥障害福祉研究部、⑦義肢装具技術研究部の7部で構成されています。医学、工学、社会学など様々な分野からのアプローチにより、主に障害の原因となる疾患の治療法や病態の解明研究、障害者の支援機器や障害に関するリハビリテーション手法・支援手法の開発を行っています。病院や自立支援局と連携した臨床研究に強みがあり、また3Dプリンタを使った自助具（障害の状況に合わせてカスタマイズされた生活用具）の製作など、障害者の身近なニーズに応える開発も行っています。

## リハビリテーションに関わる専門職として 先駆的・指導的な役割を担う人材の 育成を行っています。

### 研修部門

年間30を超えるリハビリテーション関連研修会、知的障害・発達障害関連研修会を実施し、初任者の育成から各分野で指導的役割を担う人材の育成まで行っています。



学院は、障害者リハビリテーションを実施する技術者と、障害児の保護と指導に従事する職員を対象に、それぞれの理論と技術を修得することを目的とした養成・研修担当部門です。養成部門は6学科、総定数270名の学院生が、1～3年の修業年限で養成教育を受けています。また研修部門では、医療機関や地方公共団体及び民間福祉施設などの各種専門職に対し、研修会を実施しています。これらの養成・研修では、学院の教官だけでなく、センター他部門の臨床、研究などに関わるスタッフなどとも連携し、現場経験に裏打ちされた価値ある知識を伝えています。

### 言語聴覚学科

日本で最初に言語聴覚士に係る唯一の国立養成機関として設立され、半世紀超の歴史があります。時代をリードする人材を育成しています。

### 義肢装具学科

日本で最初に義肢装具士に係る唯一の国立養成機関として設立され、当センターの環境を活かした、業界を牽引する人材を育成しています。

### 視覚障害学科

見えない・見えづらい状況などにある方々を支援する人材を育成する唯一の国立養成機関です。

### 手話通訳学科

ろう者の言語である「日本手話」を学び、手話通訳士を目指す学科です。日本手話を第一言語とするろう者から少人数クラスで手話実技を学び、専門的な通訳技術・知識や論理を学びます。

### リハビリテーション体育学科

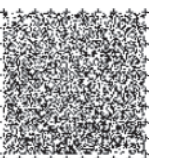
障害のある方々に健康で快適なライフステージを提供する運動・スポーツ及び体育の専門家育成しています。

### 児童指導員科(発達障害支援者養成)

日本で最初に障害児支援に係る唯一の国立養成機関として設立され、半世紀超の歴史があります。発達障害児・者への支援について、福祉、教育、医療などの様々な領域で活かせる人材を育成しています。

音声コード  
[Uni-Voice]

専用アプリなどで読み取ると、  
内容を音声で聞くことができます。



企画・情報部では、当センターの広報活動のほか、主に以下の取り組みを行っています。

## 高次脳機能障害情報・支援センター

高次脳機能障害に関する最新かつ信頼できる情報を収集・発信し、ご本人・ご家族、全国の高次脳機能障害者支援センターや、広く国民の皆さまに普及啓発活動を行い、福祉サービスなどの向上を目指します。

情報収集・発信	高次脳機能障害支援に関する施策や研究成果などの情報、イベント情報などを収集・整理して発信します。
調査・研究	高次脳機能障害者支援に必要な調査・研究を実施します。
研修	高次脳機能障害者支援センターの職員などに、支援技術習得の研修を実施します。
普及啓発	ウェブサイトなどを通して、広く国民の皆さまに分かりやすく、専門職には詳細に解説を行います。
関連機関との連携	全国会議などを開催し、高次脳機能障害者支援センターと連携して、地域支援の充実を図ります。

## 発達障害情報・支援センター

発達障害に関する情報収集・分析とその結果の発信や調査・研究、発達障害支援に携わる方々の人材育成などを通して、発達障害のある方々の自立と社会参加を支援します。

情報収集・発信	発達障害支援に関する施策や研究成果の情報、イベント情報などを収集・整理して発信します。
調査・研究	自治体・地域における取り組み実態を調査・把握するとともに、障害者総合福祉推進事業などの課題に対応した研究を行います。
人材育成	セミナーを主催する、学院や厚生労働省と連携して研修の企画・立案を行うなどのほか、各種研修動画を作成してHPなどで公開しています。
関連機関との連携	上記取り組みに当たっては、必要に応じて各都道府県・政令指定都市の発達障害者支援センターや、国立特別支援教育総合研究所などの国の関係機関、また、内部の他部門とも連携して推進します。

## 支援機器イノベーション情報・支援室

小児筋電義手をはじめとして、支援機器やその支援制度に関する情報を総合的に発信することなどを通じて、障害のある方々の日常生活や社会生活を支援しています。



## 国際協力室

センターが蓄積したリハビリテーションに関する知識と技術を活用し、国際機関や海外機関と協力して、主にアジア太平洋地域におけるリハビリテーションの発展に取り組んでいます。

### ■ WHO(世界保健機関)協力センターとしての活動

リハビリテーションの国際的な発展に寄与するため、WHOへの活動協力、国際セミナー・シンポジウムの開催などを行っています。

### ■ 日中韓リハビリテーションセンター連携事業

韓国国立リハビリテーションセンター、中国リハビリテーション研究センターと連携協定を締結し、シンポジウムの開催や技術交流などを通じた相互協力を行っています。

### ■ 海外見学者・海外研修生の受け入れ

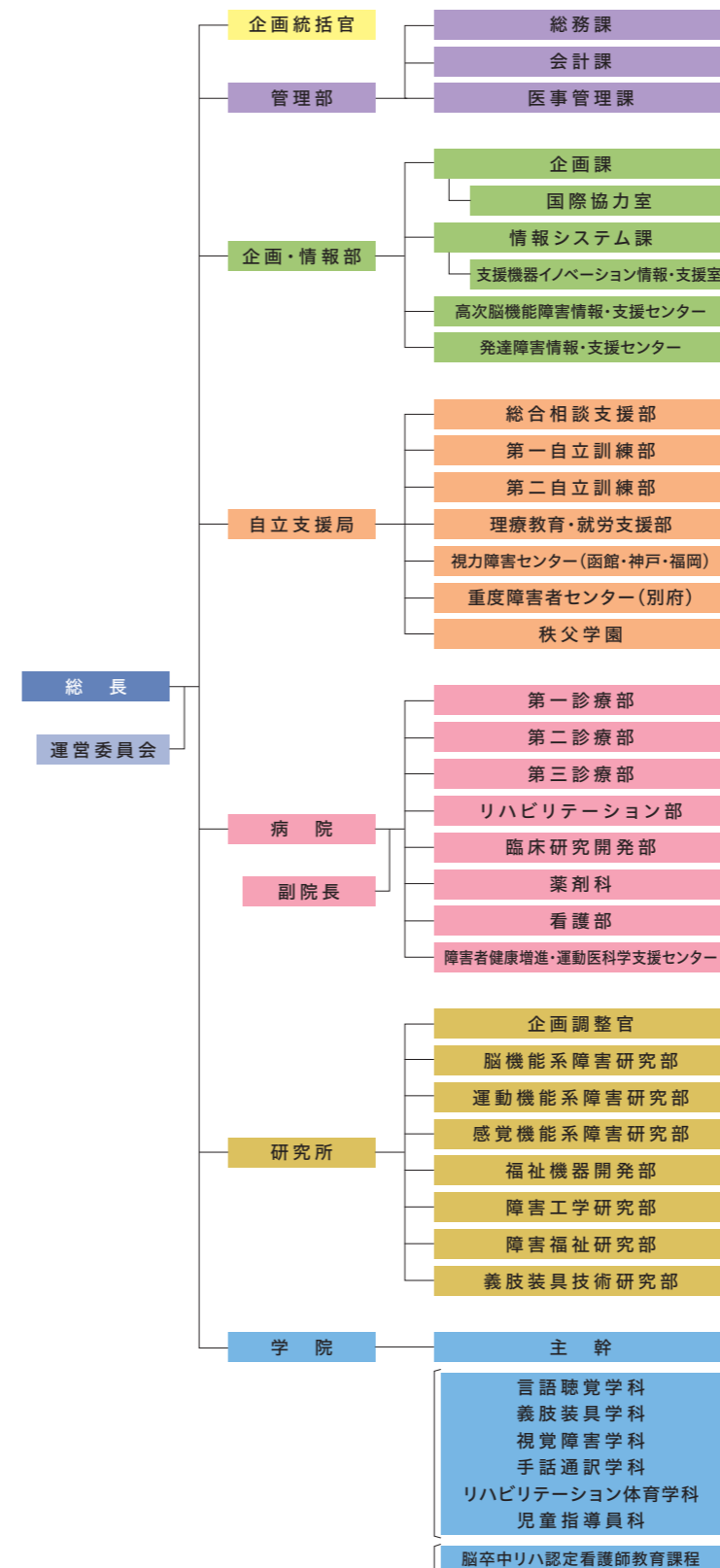
1979年のセンター設立以来、約160の国と地域から12,000人を超える見学者に対し、センターが実施するリハビリテーション、研究、教育などの活動を紹介しています。また、800人を超える海外の医師などリハビリテーション専門家への研修を実施し、蓄積された知識と技術を共有しています。



## 組織と施設案内

Organization

### ■ 全体組織図



### ■ 自立支援局の各施設案内

#### 視覚障害者への支援を提供

視覚障害者に対する就労移行支援(養成施設)、自立訓練(機能訓練)及び施設入所支援の障害福祉サービスを提供しています。

#### 函館視力障害センター

北海道函館市湯川町1-35-20  
<https://www.rehab.go.jp/hakodate/>  
 TEL.0138-59-2751



#### 神戸視力障害センター

兵庫県神戸市西区曙町1070  
<https://www.rehab.go.jp/kobe/>  
 TEL.078-923-4670



#### 福岡視力障害センター

福岡県福岡市西区今津4820番地の1  
<https://www.rehab.go.jp/fukuoka/>  
 TEL.092-806-1361



#### 肢体不自由者への支援を提供

肢体不自由者(主として頸髄損傷者)を対象に、自立訓練(機能訓練)及び施設入所支援の障害福祉サービスを提供しています。

#### 別府重度障害者センター

大分県別府市南荘園町8番24号  
<https://www.rehab.go.jp/beppu/>  
 TEL.0977-21-0181



#### 知的障害のある児童に支援を提供

知的障害のある児童を対象に、福祉サービスを提供しています。

#### 秩父学園

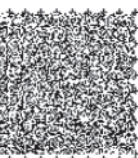
埼玉県所沢市北原町860  
<https://www.rehab.go.jp/chichibu/>  
 TEL.04-2992-2839



※各施設の利用などの相談窓口は、支援課(秩父学園については地域支援課)です。

#### 音声コード [Uni-Voice]

専用アプリなどで読み取ると、内容を音声で聞くことができます。



# 国立障害者リハビリテーションセンター

National Rehabilitation Center for Persons with Disabilities

埼玉県所沢市並木4丁目1番地  
<https://www.rehab.go.jp>

TEL. 04-2995-3100(代)



## 見学について

企画課までお問い合わせ下さい。  
内線：2147 メールアドレス：kikakuka@mhlw.go.jp

## ACCESS

### 電車を利用

航空公園駅(西武新宿線)から徒歩で約15分、タクシーで約5分

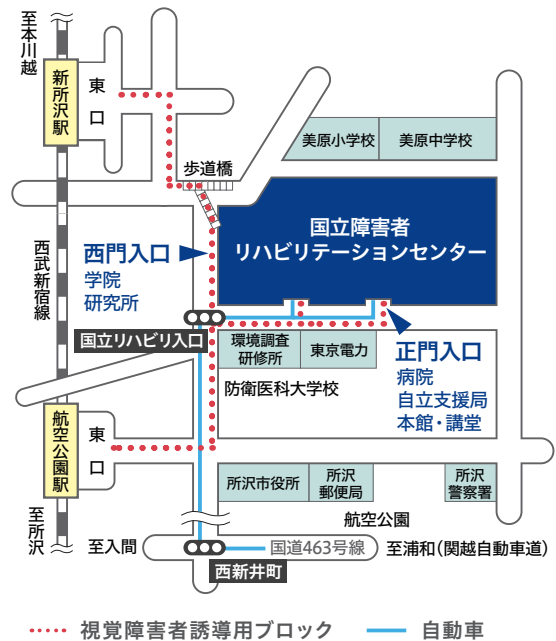
新所沢駅(西武新宿線)から徒歩で約15分、タクシーで約5分

所沢駅(西武新宿線・西武池袋線)からタクシーで約10分

### 車を利用

所沢I.C.(関越自動車道)から国道463号線を経由して約30分

- 航空公園駅、新所沢駅には車椅子利用者のためのエレベータが設けられています。
- 航空公園駅、新所沢駅(東口)からセンターまで視覚障害者誘導用ブロックが敷かれています。
- 航空公園駅からリフト付き市バス(ところバス)が運行されています。  
市内にお住まいの障害者の方は特別乗車証を提示することにより無料で利用できます。



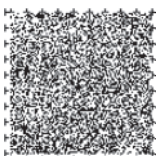
## YouTube

国立障害者リハビリテーションセンター  
公式YouTubeチャンネル



## X(旧Twitter)

国立障害者リハビリテーションセンター  
公式Xアカウント(@NRCD\_)



音声コード  
[Uni-Voice]

専用アプリなどで読み取ると、  
内容を音声で聞くことができます。